

5 本時の学習指導

(1) 目標

他者と話し合うことを通じて、論理の展開に説得力があるのか、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。
(思考・判断・表現)

(2) 『本時』における学びをたのしむ生徒の姿について

イースター島の昔の事例と今の地球の現状を結びつけ、「危険度はどれくらいか」と自分なりに数値化することで他者との違いに気付かせ、話し合う必要性をもたせる。他者との意見交流の中で、異なる意見に出会い問い返し、相手の根拠を聞き取って納得する姿が想定される。そのような活動を通じて、自分の意見を支える根拠のあり方を確認し、考えを深める姿を目指す。本時を振り返り、他者との関わりの中で、自分の意見がより確かなものになったと成長を実感する姿を期待したい。

(3) 本時の学習展開

生徒が思考し続けるための 教師の意図的な働きかけ 手だて②	予想する生徒の姿	手だての有効性はどうであったか (生徒の姿の実際・改善点など)
1 今の地球もイースター島と同じように森の消滅で文明が崩壊する危険があるか。自分の意見を考え、発表する。 話し合う必要性をもたせるために、危険度で表し、他者との違いに気付かせる。	100% 今の地球もイースター島と同じように人口増加で食糧難になる危険がある。 50% 人口増加で食糧難になる危険性はあるが、森の消滅は防げる。 0% 今と昔、地球と小さな島の規模はちがう。	
2 今の地球とイースター島の共通点、相違点(他の可能性)を話し合う。 多様な視点に触れ、個人の考えを広げることができるよう、グループ活動で話し合った後に、他のグループの考えに触れる交流タイムを設ける。	共通点が多いから、私は理由づけに「人口が増えて農耕地が拡大している」を使おう。 他のグループの意見で「他の国と協力できる」「食料生産の技術革新」を見つけたよ。 理由づけを「人口が増えても、技術革新を使い、農耕地を広げずに食料を分け合える」にしよう。	
3 理由づけの妥当性について話し合う。 自分の意見の妥当性について問い直し、説得力のある考えをもつために、他者の意見に対して自分はどう思うか考えさせる問いかけをする。	「森によって支えられている」 ・私も同じ考えて、木を資源として活用しているし、環境問題でも重要になってくるから。 ・私は、森の木だけではなく他の可能性も考えた。資源なら草や海藻も使える。	
成長や課題を認識し、次の学びにつなげる 「振り返り」の活用 手だて③		
4 振り返り書く。 本時の学習を振り返り、最終的な自分の考えの変容を実感するために、振り返りの視点を【⑤「危険度は変わったか」と「その理由」】に設定する。	80%→50% 森林を消滅させずに、人類が生き延びる他の可能性が理由づけに増えたから。 50%→50% 事実と結び付けて他の人の意見を聞いて、理由づけを増やしていったから、自分の意見は、より確かなものになった。	

(4) 評価

他者と話し合うことを通じて、論理の展開に説得力があるのか、自分の考えを広げたり、深めたりすることができたか、話し合いの様子やワークシートの記述により判断する。